

Monthly Report

2019年7月号

特集

右折

右折は、運転の中でも、特に注意を要する難しい行動です。この右折に、多くのドライバーが、初心者のころは大変緊張したにも関わらず慣れが生じると、いつしか、その危険性を過小評価するようになってはいないでしょうか。今号は、重大事故が後を絶たない右折について、改めてその危険性や走行の基本などを取りあげましたので、是非、自身の「右折」行動をチェックする参考としてください。



危険に満ちた右折シーン

1. 右折のリスクを再確認しましょう

◆右折における主な危険要因◆

交通環境		黄色で進入してくる直進対向車、横断歩道を駆け抜ける自転車、・・・
ドライバー	認知	刻々と変わる状況の変化に、認知の能力が追いつかない危険性(見落とし)
	判断	行けると、対向車のスピードを遅く評価する危険性(錯覚)
	操作	複雑な行動のプレッシャーから操作を間違える危険性(誤操作)
	心理	・早く右折したいという気持ち(自己中心性) ・早く行かなければならないという気持ち(焦燥性)

このように複雑で危険な右折場面には、事故を起さないように、必要最低限のルールが法律で定められています。



■道路交通法 第三十四条第二項

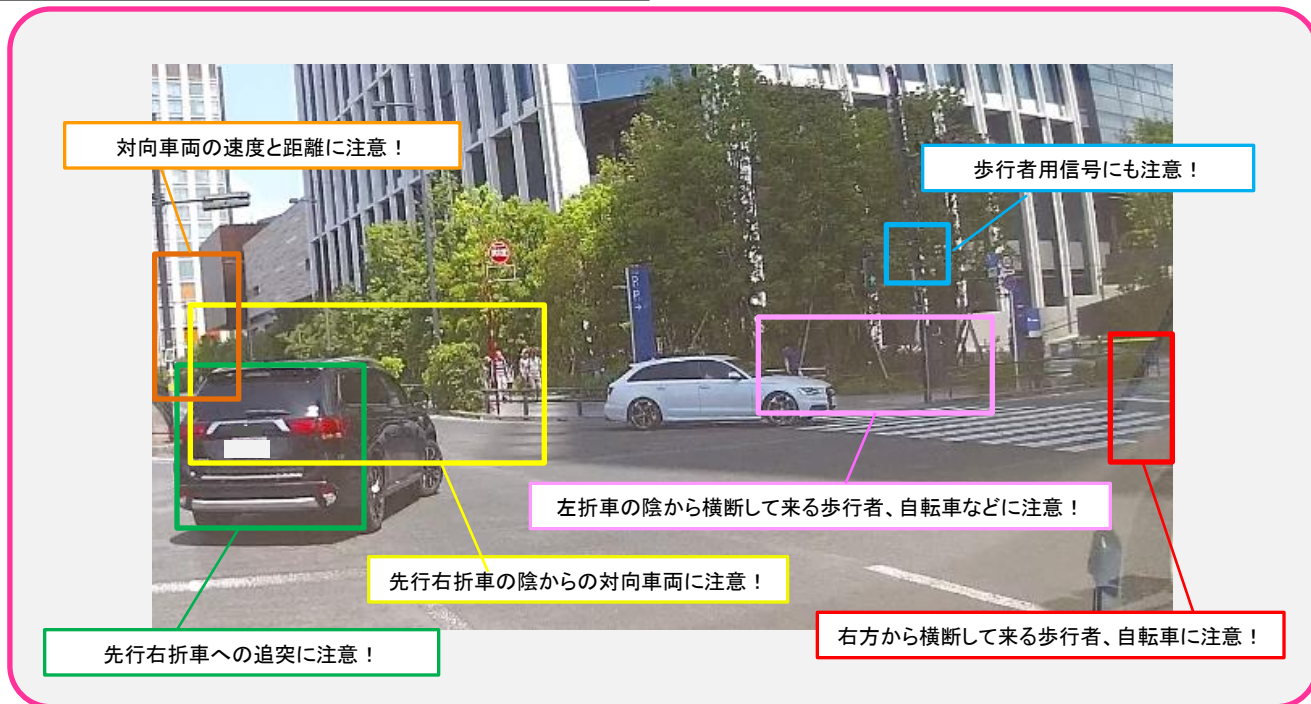
自動車、原動機付自転車又はトロリーバスは、右折するときには、あらかじめその前からできる限り道路の中央に寄り、かつ、交差点の中心の直近の内側(道路標識等により通行すべき部分が指定された部分)を徐行しなければならない。

■道路交通法 第三十七条

車両等は、交差点で右折する場合において、当該交差点において直進し、又は左折しようとする車両等があるときは、当該車両等の進行妨害をしてはならない。



2. 右折進行時のチェックポイント



3. 右折事故を起さないために

次の運転行動を参考に、右折での事故を防ぎましょう。

◎ 認知

- ・あらかじめ、安全確認を行うチェックポイントを意識する。
- ・チェックポイントを、声に出して確認する。(コメンタリードライビング)

◎ 判断

- ・自分で、安全が確認できないことがあったら右折しない。
- ・「だいじょうぶだろう」と、甘い判断をしない。
- ・右折矢印信号がある交差点では、無理せず青の矢印信号を待つ位の余裕を持つ。

◎ 操作

- ・右折は徐行で進行する。
- ・絶対に、交差点をショートカットするような不安全行動をしない。



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

SOMPOリスクマネジメント株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-24-1
ホームページ <https://www.sompo-rc.co.jp>

お問い合わせ先